

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男) 2 回戦

試合日: 2014/08/03
開始時刻: 10:00~
会場: 船橋市総合体育館
コート: Cコート
試合順: 第1試合(男) 2回戦

Team A		Team B												
帝京長岡	85	県立松山工業												
(新潟県)		(愛媛県)												
	<table border="1"> <tr><td>30</td><td>-</td><td>8</td></tr> <tr><td>12</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>24</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>13</td></tr> </table>	30	-	8	12	-	15	24	-	20	19	-	13	56
30	-	8												
12	-	15												
24	-	20												
19	-	13												

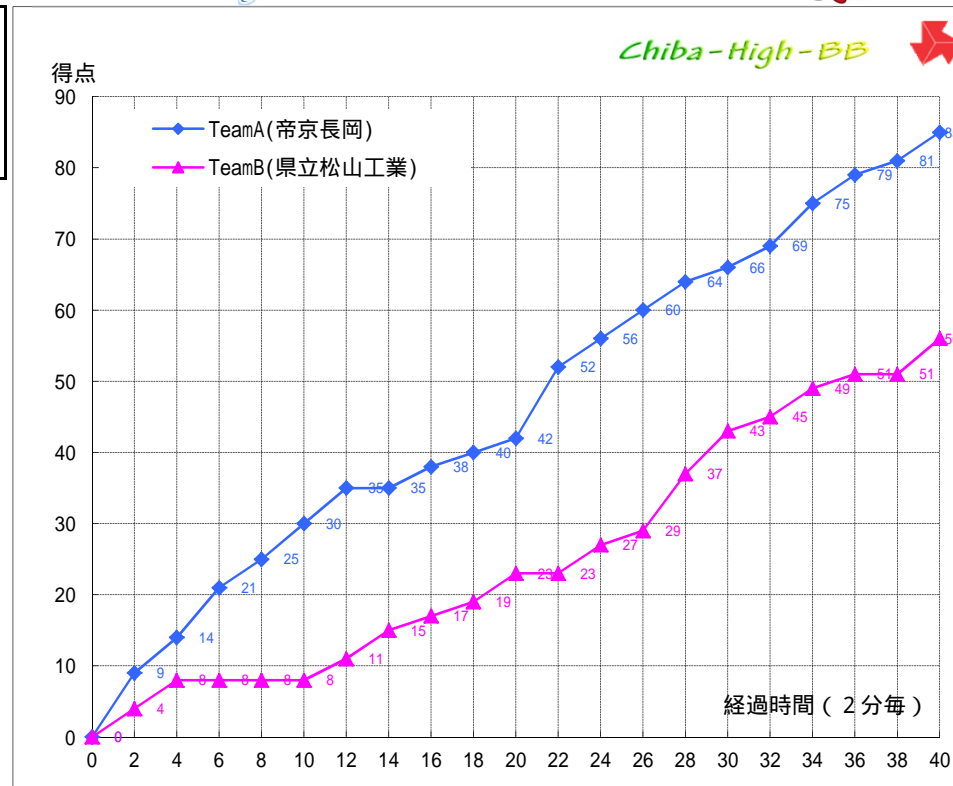
TeamA(帝京長岡)

PT	選手名	得点	3分 イト		2分 イト		フリース-成	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成	成	成	成			off	def	計			
4	佐藤 寛也	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
5	広井 夢輝	3	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
6	高橋 悠樹	5	1	1	0	2	2	2	4	5	1	0	0	0
7	刈 子澍	1	0	0	1	2	0	6	6	0	1	5	0	0
8	高橋 陸	19	3	5	0	0	0	2	2	2	6	0	3	0
9	鷺津 寛輝	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
10	寛張 蓮	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
11	Tahirou Diabate	38	0	18	2	3	10	12	22	1	4	0	0	0
12	頓所 幹康	6	0	3	0	0	2	1	3	2	0	1	0	0
13	大嶋 拓実	9	0	4	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0
14	神田 大輔	4	0	2	0	0	1	0	1	4	0	1	0	0
15	川崎 竣平	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	7	9	16				0
合計		85	5	33	4	11	24	37	61	18	6	10		

TeamB(県立松山工業)

PT	選手名	得点	3分 イト		2分 イト		フリース-成	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成	成	成	成			off	def	計			
4	林 知秀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	上田 将貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	坂田 光平	11	0	3	5	3	1	2	3	0	0	0	0	0
7	片岡 昂大	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	那須 文哉	8	0	4	0	0	1	2	3	1	0	0	0	0
9	篠原 翔一	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0
10	重見 太智	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	白石 靖弥	1	0	0	1	2	0	4	4	1	0	0	0	0
12	篠原 諒騎	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
13	本田 貴将	26	4	7	0	1	0	4	4	2	1	8	0	0
14	東浦 元樹	4	0	2	0	0	0	5	5	0	1	3	0	0
15	萩野 一洋	4	0	2	0	0	3	3	6	1	0	1	0	0
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	3	6	9				0
合計		56	4	19	6	7	10	27	37	5	2	13		

TO/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高校バスケットボール部



タイムアウト

	前半(1-2分)リフト	後半(3-4分)リフト	延1	延2	延3	延4
TeamA	-	-	-	-	-	-
TeamB	3:12	14:47	33:21	34:37	-	-

【戦評】

両チームともマンツーマンでゲームが始まる。帝京長岡は#11がゴール下を完全に支配し、ディフェンスリバウンドだけでなく、オフェンスリバウンドも支配する。#8のドライブなどもあり、着実に加点する。一方、松山工業は帝京長岡のディフェンスを攻めきれず6分間ノーゴールと苦しい展開となり、30対8と一方的な展開となった。第2P、松山工業は#13、#14のジャンプシュートや3Pシュートが決まり追い上げるが、帝京長岡も#13のジャンプシュートやドライブで応戦し、42対23と帝京長岡のリードで残半終了。第3P、帝京長岡は再び#11を中心に、突き放しにかかる。松山工業も#13のドライブインや#14の3Pで追い上げるが、帝京長岡は#11のリバウンドやインサイドの活躍で点差を広げ、66対43と点差が開き、第3P終了。第4P、松山工業は#15がゴール下の頑張りや#7のジャンプシュートで追い上げを図るが、帝京長岡は#8のジャンプシュートや#11の活躍で点差を広げる展開となり、85対56と帝京長岡が高さを生かして完勝した。

審判	丸山 淳 / 折目 大河 /	戦評	桐谷 浩美
----	----------------	----	-------